

2019年7月1日

自己点検・評価表

基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校長名	所 在 地			
山本学園情報文化 専門学校 専門課程	平成4年4月1日	小林 義孝	〒472-0025 愛知県知立市池端1丁目13番地 (電話) 0566-83-8020			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所 在 地			
学校法人山本学園	昭和40年1月7日	山本 直明	〒472-0025 愛知県知立市池端1丁目13番地 (電話) 0566-81-2151			
目的	高度情報化社会に通じるIT技術者の育成、高い生産能力を持つデザイン 習得、幅広いIT活用能力を身に付けさせ、高度な資格の取得資格も目指す					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼)	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
商業 実務	専門	情報ビジネス	2年	1800時間	有	無
		高度情報ビジネス	1年	870時間	無	無
学科名	講義	演習	実験	実習	実技	
情報ビジネス (2年)	1020時間	0時間	0時間	1080時間	時間	
高度情報ビジネス (1年)	320時間	0時間	0時間	700時間	時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
210人	125人	9人	6人	15人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法 学則の評価方法に基づき100点満点で評価	

長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め：4月1日 ■夏季：7月21日～8月31日 ■冬季：12月25日～1月7日 ■学年末：3月21日～3月31日 	卒業・進級条件	在籍学科の規定の単位を取得し、かつ所定の出席日数を確保
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制（有） ■長期欠席者への指導等の対応 <p>家庭と連携をとる。 必要により家庭訪問を実施</p>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■新入生交流会 ■校外研修, 卒業研修旅行 ■就職セミナー ■企業見学, インターンシップ ■学校祭
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先 <p>(株)アピスト、(株)エスワイシステム、(株)ジェイテック、(株)日本インフォメーションなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ■就職率 <p>97.6%（希望者中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■卒業者に占める就職者の割合 <p>82.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ■卒業生に占める進学者の割合 <p>14.0%</p>	主な資格・検定	<p>情報セキュリティスペシャリスト 応用情報技術者試験 基本情報技術者試験 Webクリエイター能力認定試験 Photoshopクリエイター能力認定試験 Illustratorクリエイター能力認定試験 C言語プログラミング能力認定試験</p>
ホームページ	URL: https://senmon.cfc.ac.jp/		

1. 学校の教育目標

校訓「誠」

教育方針「誠実にして豊かな情操を持ち、しかも実力ある人を育てる」

昭和31年愛知県認可校となり、平成4年4月「山本学園情報文化専門学校」へ改称と合わせ2年課程の情報ビジネス科を設置し、平成29年4月に1年課程の高度情報ビジネス科を設置し、近年の高度情報化社会に通じるIT技術者の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学生の個々への実力をつけ、将来を見据えた教育を行う

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1).教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて 方向づけられているか	④ 3 2 1

①課題

学生や保護者への教育目標の周知

②今後の改善方策

周知方法の検討

③特記事項

行事等を利用しての周知も検討が必要

(2).学校運営

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 ② 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

①課題

教員活動等の情報公開の必要は感じているが通常業務以外で時間がとれない

②今後の改善方策

定期的に業務として役割を決めて取り組む必要性がある

③特記事項

忙しい業務の中で、いかに時間をつくるか。

(3).教育活動

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・開発施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

①課題

教員のスキル向上のための研修時間の確保

②今後の改善方策

教員の週授業時間数の検討および授業以外での仕事内容の整理や割振りの検討

③特記事項

教員のスキル向上のための時間確保の調整

(4).学修成果

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

①課題

経済的理由による退学者の対策
卒業生との公の場での交流が少ない

②今後の改善方策

お金の活用や保護者との連携体制の充実 の検討
活躍する卒業生が在校生に話をする機会を増やす検討

③特記事項

資格状況はホームページを参照してください。
就職状況はホームページを参照してください。

(5).学生支援

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

学生の生活環境への支援が不足

卒業生への支援不足

②今後の改善方策

個々への生活環境支援についての検討

卒業生については、担任が在校生と卒業生ともの把握が難しいため担任以外での
対応を検討

③特記事項

国の支援制度を望む

(6).教育環境

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

①課題

大規模災害への対策
学外における実習施設の不足

②今後の改善方策

学園グループでの避難訓練実施
学外における実習施設の検討

③特記事項

避難に対して学生の臨機応変な力を身につけさせる

(7).学生の受け入れ募集

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

今後の少子化への対応
学生募集における広報活動の不足

②今後の改善方策

分野の魅力を伝える 学校の特色を伝える
インターネットや出版物を使っての広報活動を検討

③特記事項

特色ある教育の実施

(8).財務

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

①課題

財務状況を踏まえての教育を実施する

②今後の改善方策

さらなる施設・設備の充実を図る 全ての無駄を排除する努力

③特記事項

今後財務情報を公開していく

(9).法令等の遵守

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

①課題

各教員の意識の充実

②今後の改善方策

自己評価の実施

③特記事項

自己評価公開

(10).社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生ボランティア活動を激励、支援しているか	4 3 ② 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

①課題

経済的に厳しい学生が多く、授業後や休日での活動が難しい

②今後の改善方策

地元とのコラボレーション企画など、学生への働きかけを行い、前向きに取り組む

③特記事項

地域の公開講座など学校側から企画の提案も検討

(11).国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 ② 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 ② 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1

①課題

考え方の違いや言葉の問題によるトラブル発生の対処 留学生担当教員の配置

②今後の改善方策

留学の条件を今まで以上に提示する

③特記事項

外国人労働者が多いため、留学生に関しては、慎重に取り扱っている

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全体的には、ほぼ適切に行われている。

ただ今後の少子化の問題や技術を持った教員の不足に伴う若い教員の追加や育成を早急に実施しなければならない等の課題がある。